

カレード

通信 Vol.50

2021年12月号

12月 December

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 陶芸教室
			「はりがねのいきものたち」 12/26(日)まで開催中!			
5	6	7 赤ちゃん おはなし会	8	9	10	11 陶芸教室
12 こども おはなし会	13	14	15	16	17 料理教室	18 陶芸教室
19	20	21	22	23	24	25 陶芸教室
26 かがく実験教室	27	28	29	30	31	
年末年始休館(12月29日~1月3日)						

小澤館長のコラム Vol.6

「のっティはかわいい」その理由は「描きやすいから？」

仕事柄、様々な土地に住んできた。どの土地にも地元のキャラクターがいて正直に言って鬱陶しかった。かわいいと言えないキャラクターが町のあちこちで嫌でも目に入る。そんな私が野々市へ来て出会った「のっティ」は不覚にも初めてかわいいと思ってしまった。自分なりになぜだろうと考えた。試しに記憶だけで描いてみたらセンスのない私でもかなりそれらしく仕上がった。理由はこれだと思った。1本の線で外郭を描くことができ、うろ覚えで目と鼻(?)と腕を描けば誰でもそれっぽく描ける。やはりこういうキャラクターはシンプルが一番。千葉県の子バくんもシンプルで好感が持てたがあれよりずっとかわいい。知名度の低さもいい。心の中で「打倒!チーバくん」とは思うが、全国区になってもらうのは困る。地元でひっそりと愛されるキャラクターであってほしい。(つづく)

図書館展示情報

一般展示 サンタのすすめ

もうすぐクリスマス!みなさん、クリスマスはどんな風に過ごしますか?ケーキを作ったり食べたり、大好きなあの人へプレゼントを渡したり、サンタクロースについて考えてみたり、...そんなあなたのために、クリスマスに関する本を、「歴史」「物語」「パーティーの準備」「Gift for you」の4つのジャンルに分けて集めてみました。ぜひ、ピッタリの本を探してみてくださいね!カレード館内には、他にもたくさん本があるので、あの人に贈りたい1冊も見つけてみてください♪

YA展示 冬のおうちタイムをハッピーに!

コロナや寒さに負けない自分磨きをお手伝い。いろんなドキドキワクワクを手にとってみて!

寒い冬は、おうちでまったりするのも楽しい時間。普段読む機会のない本をじっくりと読んでみるのもいいですね。新しい本との出会いをきっかけに、自分磨きをしてみませんか。

児童展示 クリスマス

もうすぐ楽しいクリスマスがやってきますね!今年はどうなプレゼントがもらえるかな?図書館でもクリスマス気分を味わってもらえるようクリスマスやサンタさん、クリスマスパーティーを盛り上げる本などを集めてみました。ぜひ、読んでみてね!

このほか館内の様々な場所でも展示をしています。ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、色々な本と出会ってください♪



年末年始休館のお知らせ

2021年12月29日(水)~2022年1月3日(月)の間は休館となります。

- ・期間中、本の返却は返却ポストにお願いします。
- ・CD・DVD・大型絵本・他館から取り寄せた本については、1月4日以降に窓口へお返しく下さい。
- ・貸出期間内であれば、インターネット上で予約・貸出延長処理ができますのでご利用ください。

貸出日	返却日
12月16日(木)	1月6日(木)
12月17日(金)	1月7日(金)
12月18日(土)	1月8日(土)
12月19日(日)	1月9日(日)
12月20日(月)	1月10日(月)

年末年始の休館に伴い、左記の期間は貸出期間が**21日(3週間)**になります。ぜひこの機会にたくさんの本と出会ってください。

12月イベント開催

針金造形アーティスト 橋寛憲展
「はりがねのいきものたち」
一本の針金から生み出される生き物たちの世界

開催中! 11月25日(木)~12月26日(日)
9:00~19:00(毎週水曜日休館)
オープンギャラリー・市民展示室

一本の針金から生み出される、今にも動き出しそうな愛くるしい生きものたちの作品を、「森・川・海にすむ生きものたち」をテーマに展示しています。

カレードPOPコンテスト
投票結果揭示中

みなさんから集まったPOPと、投票結果を館内に揭示中です。入賞した方には賞品をプレゼント!投票していただいた方の中からも抽選でプレゼントをお渡しします。利用者番号を揭示していますので、当選した方はカウンターまでお越しください。

投票結果 発表・揭示期間 12月21日(火)まで

今月のおすすめ本

『こどもスケッチ』
著者:おーなり 由子 出版社:白泉社 分類ラベル:599.04

昔こどもだったすべての人に贈る、笑って泣ける子育てエッセイです。子育て中の人、子育てを経験して次の段階の孫育て中の方にもおすすめです。子育ての一瞬の出来事・思い出を「スケッチ」のように優しいタッチの絵を交えながら綴っています。子どもの横顔、寝顔、泣いている姿、抱っこしてもらっている姿、フロ上りに裸で走り回る姿等、この子がいなければ見られない景色であり、それは、すぐに消え、変化してしまうのですが、いつの日か思い出すかもしれない大切な景色です。

子育て中はどうしてもならない、思い通りにならないことが多々あります。そんな時、「いたいいたいのとんでいけ」というおまじないみたいな言葉は、どうすることもできず天に助けを求めらうしかない親の切実な「祈りの言葉」となります。著者はほとんどの親は自分の子どもに死ぬまでずっとこの言葉を唱え続けるのかなーとつぶやいています。そうなんです。親とはそういうものなのです。子どもがいつくになろうとも「祈りの言葉」は続きます。

本書の最後に掲載されている、おぼえ書きは、心ゆさぶられるエピソードがイラスト付きで描かれています。ぜひ手に取って読んで頂きたい一冊です。

こちらの本は、カレードと富奥公民館に1冊ずつ所蔵しています。